

我が国資本市場の新たな スタート(市場区分の見直し)



株式会社日本取引所グループ
取締役 兼 代表執行役グループCEO

清 田 瞭

1. はじめに

本年、4月4日より、いよいよ株式会社東京証券取引所（以下、東証）の新市場区分がスタートする。

これは、現在の市場区分（市場第一部、市場第二部、マザーズ、JASDAQスタンダード及びJASDAQグロース）を廃止し、新しい三つの市場区分「プライム市場」、「スタンダード市場」及び「グロース市場」を創設するものであるが、東証が所属する株式会社日本取引所グループ（以下、JPX）では、2018年から具体的な検討に着手し、多くの市場関係者との間で議論を積み重ね、これまで制度設計を行ってきた。新市場区分への移行まで残すところあと数か月、JPX一丸となり、円滑な移行に向けて全力を尽くす所存である。

もっとも、これまでの検討のプロセスは、あくまでもスタートラインに立つまでの準備、助走にすぎない。今般の見直しの目的は、上場企業の持続的な成長及び中長期的な企業価値向上に資するマーケットを構築し、国内外の投資家に魅力的な株式市場を提供することにある。

2. これまでの経緯

振り返ってみると、我が国の資本市場も、その求められる役割を十分に発揮するため、経済・社会の変化に応じてその形を変えてきた。